

貸借対照表
(令和5年3月31日現在)

名古屋市中村区名駅三丁目21番7号
株式会社三交イン
代表取締役社長 村田陽子

科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
(資産の部)	2,446,547,833	(負債の部)	3,668,331,434
流動資産	815,543,747	流動負債	1,477,473,444
現金及び預金	119,932,453	買掛金	108,905,342
預け金	49,218,077	短期借入金	200,000,000
売掛金	448,826,913	1年内返済予定の長期借入金	746,220,000
貯蔵品	24,543,621	未払金	106,417,891
前払費用	146,804,374	未払費用	28,186,178
未収入金	2,503,753	未払法人税等	70,467,300
その他	23,714,556	未払消費税	132,158,700
		前受金	31,169,205
		預り金	14,731,828
		賞与引当金	39,217,000
固定資産	1,631,004,086	固定負債	2,190,857,990
有形固定資産	941,507,641	長期借入金	2,152,196,000
建物	852,409,386	退職給付引当金	32,361,990
構築物	36,760,041	長期預り保証金	6,300,000
工具器具備品	47,938,214		
建設仮勘定	4,400,000	(純資産の部)	△ 1,221,783,601
無形固定資産	18,655,031	株主資本	△ 1,221,783,601
施設利用権	699,410	資本金	10,000,000
ソフトウェア	17,824,371	利益剰余金	△ 1,231,783,601
その他	131,250	利益準備金	2,500,000
投資その他の資産	670,841,414	その他利益剰余金	△ 1,234,283,601
長期前払費用	11,237,547	繰越利益剰余金	△ 1,234,283,601
敷金及び保証金	593,250,380	(当期純利益 165,220,296円)	
繰延税金資産	45,744,396		
その他	20,609,091		
合 計	2,446,547,833	合 計	2,446,547,833

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産

貯蔵品：最終仕入原価法による原価法

(2) 固定資産の減価償却方法

①有形固定資産(リース資産を除く) 定率法

但し、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く。)並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法により償却しております。尚、耐用年数及び残存価額については主として法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

②無形固定資産(リース資産を除く) 定額法

尚、耐用年数については主として法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

(3) 引当金の計上基準

① 賞与引当金

従業員賞与の支給に備えるため、支給見込額を計上しております。

② 退職給付引当金

従業員の退職により支給する退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しています。なお、退職給付債務の算定にあたり簡便法を採用しております。

(4) 収益及び費用の計上基準

当社はホテルの運営、それらに付帯するサービスの提供を中心としたホテル事業を営んでおります。

サービスの受渡時点において顧客が当該財又はサービスに対する支配を獲得し、当社の履行義務が充足されると判断し、収益を認識しています。

(5) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

① 消費税等の会計処理

控除対象外消費税及び地方消費税は、当事業年度の費用として処理しております。

② グループ通算制度の適用

三重交通グループホールディングス株式会社を通算親法人とするグループ通算制度を適用しております。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

・当該事業年度の末日における発行済み株式の種類及び株式数

普通株式

200 株

3. 収益認識に関する注記

収益を理解するための基礎となる情報は、「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「収益及び費用の計上基準」に記載しております。